

平成26年度

自 平成26年4月1日
至 平成26年4月4日

栃木地区広域行政事務組合
一般会計決算審査意見書

栃木市監査委員

栃市監第55号
平成26年8月19日

栃木市長 鈴木俊美 様

栃木市監査委員 藤沼康雄

栃木市監査委員 千葉正弘

平成26年度栃木地区広域行政事務組合決算審査意見書について

地方自治法第233条第2項及び第241条第5項の規定により審査に付された平成26年度栃木地区広域行政事務組合一般会計の歳入歳出を審査いたしましたので、次のとおり意見書を提出いたします。

目 次

1	審 査 の 対 象	1
2	審 査 の 期 間	1
3	審 査 に 付 さ れ た 経 緯	1
4	審 査 の 方 法	1
5	審 査 の 結 果	1
6	決 算 の 概 要	2
	(1) 決 算 規 模	2
	(2) 一 般 会 計	3
	ア 決 算 の 状 況	3
	イ 歳 入	4
	ウ 歳 出	6
7	財 産 に 関 す る 調 書 に つ い て	8

1 審査の対象 平成26年度栃木地区広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
(平成26年4月1日～4月4日)

2 審査の期間 平成26年7月8日～8月18日

3 審査に付された経緯

栃木地区広域行政事務組合においては、栃木市と旧岩舟町が構成していたが、平成26年4月5日、栃木市と旧岩舟町の合併に伴い、栃木地区広域行政事務組合は解散した。

この解散に伴い、地方自治法施行令第5条第2項及び第3項の規定に基づき、栃木市において、決算の審査を行うこととなったものである。

4 審査の方法

審査に付された平成26年度栃木地区広域行政事務組合の決算書、歳入歳出決算事項別説明書、実質収支に関する調書、財産に関する調書について、関係書帳簿と照合点検及び内容の検討を行い、計数の確認及び会計処理の適否等について審査した。

5 審査の結果

一般会計の歳入歳出決算書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、地方自治法施行規則に定められた様式を備え、また、計数について、関係諸帳簿及び証ひょう書類等を照査したところ、正確であり、その内容も正当なものと認められた。

(注) 本意見書における文中及び各表中の計数、比率等の用法は次のとおりとした。

- ① 千円を単位とした数字は原則として四捨五入としたが、端数を整理するため調整した数字である。
- ② 比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入とした。
- ③ 構成比率(%)は、合計が100となるよう一部調整した。
- ④ 「0.0」は、当該数値はあるが表示単位未満のものである。
- ⑤ 「-」は、当該数値のないものである。

6 決算の概要

(1) 決算規模

歳入	681,500 円	(前年度	2,233,171,304 円)
歳出	0 円	(前年度	2,040,449,094 円)

一般会計歳入歳出決算額は、次のとおりである。

(単位：円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	681,500	0	681,500

決算規模の推移

(単位：円)

区分	決算額			指数 (24年度=100)	
	平成26年度 (A)	平成25年度 (B)	平成24年度 (C)	平成26年度 A/C	平成25年度 B/C
歳入	681,500	2,233,171,304	2,670,839,138	0	84
歳出	0	2,040,449,094	2,481,266,591	0	82
差引残額	681,500	192,722,210	189,572,547	0	102

(2) 一 般 会 計

ア 決 算 の 状 況

平成26年度の一般会計歳入決算額は、681,500円で、予算現額 13,783,000円
に対し4.9%の収入率である。

調定額861,250円に対する収入率は79.1%である。

前年度に比較すると、2,232,489,804円(100.0%)の減である。

歳出決算額は、0円である。

前年度に比較すると、2,040,449,094円(100.0%)の減である。

歳入歳出差引残額すなわち形式収支は681,500円である。

実質収支額は、681,500円である。

さらに、平成26年度実質収支額681,500円から平成25年度実質収支額192,722,210
円を差し引いた当該年度の単年度収支額は、192,040,710円の赤字である。

決算収支に関する調書

(単位：円)

区分	年度	平成26年度	平成25年度	比 較
歳 入 (A)		681,500	2,233,171,304	△ 2,232,489,804
歳 出 (B)		0	2,040,449,094	△ 2,040,449,094
形 式 収 支 (A - B) (C)		681,500	192,722,210	△ 192,040,710
翌年度へ繰越すべき財源 (D)		0	0	0
実 質 収 支 (C - D) (E)		681,500	192,722,210	△ 192,040,710
前 年 度 実 質 収 支 (F)		192,722,210	189,572,547	3,149,663
単 年 度 収 支 (E - F) (G)		△ 192,040,710	3,149,663	△ 195,190,373

予算決算対照表

(単位：円)

区分	年度	平成26年度	平成25年度
予 算 現 額 (A)		13,783,000	2,178,312,000
収 入 済 額 (B)		681,500	2,233,171,304
支 出 済 額 (C)		0	2,040,449,094
収入済額と予算現額との比較 (B - A)		△ 13,101,500	54,859,304
予算現額と支出済額との比較 (A - C)		13,783,000	137,862,906
予算現額に対する収入済額の割合 (B/A×100)		4.9 %	102.5 %
予算現額に対する支出済額の割合 (C/A×100)		0.0 %	93.7 %

イ 歳 入

予 算 現 額	13,783,000 円
調 定 額	861,250 円
決 算 額	681,500 円
不納欠損額及び収入未済額	179,750 円

予算現額に対する収入率は4.9%で、前年度の102.5%に比べ97.6ポイントの減である。

また、調定額に対する収入率は79.1%である。

決算規模の推移

(単位: 円)

区 分	平成26年度	平成25年度	比 較	増減率
予 算 現 額 (A)	13,783,000	2,178,312,000	△ 2,164,529,000	△ 99.4 %
調 定 額 (B)	861,250	2,268,758,060	△ 2,267,896,810	△ 100.0 %
収 入 済 額 (C)	681,500	2,233,171,304	△ 2,232,489,804	△ 100.0 %
対予算収入率(C/A)	4.9%	102.5%	△97.6ポイント	-

1款 使用料及び手数料

収入済額は予算現額813,000円に対し83.8%、調定額に対し79.1%の収入率で収入未済額が179,750円である。これは、現金で納められた廃棄物処理手数料について、収納日が4月4日の解散日を過ぎたことから、収入未済となったものである。前年度に比べ321,574,750円(99.8%)の減である。

款の推移は次表のとおりである。

(単位: 円)

平 成 26 年 度			平 成 25 年 度			比 較	増 減 率
収 入 済 額	対予算 収入率	構成比	収 入 済 額	対予算 収入率	構成比		
681,500	83.8 %	100.0 %	322,256,250	92.9 %	14.4 %	△ 321,574,750	△ 99.8 %

2款 繰越金

収入済額は0円で、予算現額12,002,000円に対し0.0%前年度に比べ189,572,547円(100.0%)の減である。

款の推移は次表のとおりである。

(単位: 円)

平成 26 年 度			平成 25 年 度			比 較	増 減 率
収入済額	対予算 収入率	構成比	収入済額	対予算 収入率	構成比		
0	0.0%	0.0%	189,572,547	123.9%	8.5%	△ 189,572,547	△ 100.0%

3款 諸収入

収入済額は0円で、予算現額968,000円に対し0.0%、前年度に比べ128,586,009円(100.0%)の減である。

款の推移は次表のとおりである。

(単位: 円)

平成 26 年 度			平成 25 年 度			比 較	増 減 率
収入済額	対予算 収入率	構成比	収入済額	対予算 収入率	構成比		
0	0.0%	0.0%	128,586,009	150.2%	5.8%	△ 128,586,009	△ 100.0%

内容は次表のとおりである。

(単位: 円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	予算現額に対する 収入済額の割合
雑 入	968,000	0	0	0.0%

ウ 歳 出

予 算 現 額	13,783,000 円
決 算 額	0 円
翌年度繰越額	0 円
不 用 額	13,783,000 円

当年度の決算額は、予算現額に対して執行はなかった。前年度と比較すると
決算額において 100.0%の減で、執行率は93.7ポイントの減である。

不用額を前年度と比較すると90.0%の減となり、予算現額に占める割合は100.0%である。

決算規模の推移

(単位: 円)

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度	比 較	増減率
予 算 現 額 (A)	13,783,000	2,178,312,000	△ 2,164,529,000	△ 99.4 %
支 出 済 額 (B)	0	2,040,449,094	△ 2,040,449,094	△ 100.0 %
執 行 率 B/A	0.0 %	93.7 %	△93.7ポイント	-
翌年度繰越額 (C)	0	0	0	-
不 用 額 A - B - C	13,783,000	137,862,906	△ 124,079,906	△ 90.0 %

1款 議会費

支出済額は0円で、予算現額7,000円に対する執行はなかった。前年度に比べ693,903円(100.0%)の減である。

款の推移は次表のとおりである。

(単位: 円)

平成 26 年 度			平成 25 年 度			比 較	増 減 率
支 出 済 額	対 予 算 執 行 率	構 成 比	支 出 済 額	対 予 算 執 行 率	構 成 比		
0	0.0 %	0.0 %	693,903	75.8 %	0.0 %	△ 693,903	△ 100.0 %

2款 総務費

支出済額は0円で、予算現額857,000円に対する執行はなかった。前年度に比べ76,908,814円(100.0%)の減である。

款の推移は次表のとおりである。

(単位: 円)

平成 26 年 度			平成 25 年 度			比 較	増 減 率
支 出 済 額	対 予 算 執 行 率	構 成 比	支 出 済 額	対 予 算 執 行 率	構 成 比		
0	0.0 %	0.0 %	76,908,814	89.6 %	3.8 %	△ 76,908,814	△ 100.0 %

3款 衛生費

支出済額は0円で、予算現額12,919,000円に対する執行はなかった。前年度に比べ1,144,901,766円(100.0%)の減である。

款の推移は次表のとおりである。

(単位: 円)

平成 26 年 度			平成 25 年 度			比 較	増 減 率
支 出 済 額	対 予 算 執 行 率	構 成 比	支 出 済 額	対 予 算 執 行 率	構 成 比		
0	0.0 %	0.0 %	1,144,901,766	90.1 %	56.1 %	△ 1,144,901,766	△ 100.0 %

7 財産に関する調書

ア 公有財産（行政財産）

土地の決算年度末現在高は85,498㎡であり、前年どおりである。

建物の決算年度末現在高は20,531㎡であり、前年どおりである。

イ 物品

物品の決算年度末現在高は7品目13台であり、前年どおりである。

ウ 基金

当年度における財産の増減高及び現在高は、次の表のとおりである。

栃木地区広域行政事務組合財政調整基金 (単位：千円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	301,827	0	301,827

当年度現在高は301,827,099円で前年度と同額となっているが、当該組合の解散に伴い、「栃木地区広域行政事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議書」により栃木市に301,827,099円が帰属された。